

エボラ出血熱の話

病原体	フィロウィルスのエボラウイルスです。
宿主	コウモリ
潜伏期間	2—21日、通常8—10日
初発症状	高熱、激しい頭痛、筋肉痛、下痢、嘔吐、腹痛があります。
死亡率	30—50%と高率です。
感染経路	感染した人の血液、体液です。

コメント

アフリカでは葬儀の習慣で、死者の親族、友人が素手で遺体を洗い清めるのだそうです。

これによって感染する危険があります。

貧しい国だと医療機関が近くにない、あっても十分な治療を受けられない、民族間の対立などで受診しない等の問題もあります。

通常で考えると、日本人旅行者が現地で感染するリスクはありますが、非常に低いと言われています。



治療

ファビピラビル(商品名:アビガン)の投与です。

コメント

もともとは抗インフルエンザ薬として開発されました。

新型インフルエンザが流行し、他の薬が効かないと国が判断した時に製造・販売するという特殊な承認となっています。



漢方の本作りました

なかしま先生の魔法のレシピ ¥4,500-(税込)

- ①0—1歳編
- ②1—5歳編
- ③6—15歳編
- ④劇的症例
- ⑤生薬図鑑
- ⑥ブログ本

6冊セット



なかしま先生の魔法のレシピ(ブログ本のみ) ¥2,000-(税込)

一般の方も読める本です。
葛根湯から始まるエキスイ剤の番号順に記事が載っています。
使い方、症例など多岐にわたる内容になっています。
辞書がわりにでも使えます。

お知らせ

小児夜間急病センター当番日

12月12日(金) 19:30—22:30(受付)

場所: 岐阜市民病院にて



年末年始の休診日

12月26日(金) 午後休診

12月27日(土) 午前で終了

来年は1月5日(月)から通常通り外来を始めます。

よろしくお願ひします。

